

看護学特別研究

単位数：8単位

*看護援助学コース（担当：福間美紀教授）

現代および将来を見据えたヘルスケアシステムにおいて質の高い看護援助を提供するために、看護援助の理論と科学的思考力を獲得し、看護援助に関する現象や看護技術の検証と新たな看護援助の開発を目指して教育・研究を行う。

*看護管理学コース（担当：津本優子教授）

自己の看護専門職としての関心、及び、特論及び演習で学んだことを基盤に、看護管理に関する研究課題を見出して研究を実施し、その結果を論文にまとめる。

*地域・在宅看護学コース（担当：伊藤智子教授）

地域で生活する人々の健康と生活を支援する看護に関する研究課題を見だし、研究論文を作成する。

*母子看護学コース（担当：秋鹿都子准教授）

小児・母性の健全な成長・発達を支えるための看護支援の方法について分析し、看護の科学的根拠を見い出して成果を論文にまとめる。

*がん・成人看護学コース（担当：橋本龍樹教授）

がん患者とその家族が直面する健康問題を広く検討し、がん看護に関する研究課題を見出し、患者家族のQOL向上を目指して新たな知識を創出し、成果を論文にまとめる。

*高齢者看護学コース（担当：原祥子教授、加藤真紀准教授）

高齢者の健康と生活を支える多様なケアサービスに関する課題を見出し、高齢者の健康生活の向上を目指した看護実践を追究し、論文を作成する。

看護学課題研究

単位数：4単位

*がん看護CNSコース（担当：コース担当教員等）

がん看護実践上の課題を探究するため、がん看護学領域における研究動向を踏まえて自己の研究課題を明確化、研究計画書を作成し、研究を実行する。データ収集・分析の過程を通じて研究手法に関する理解を深めると共に論旨一貫性のある研究論文を作成する。

*老人看護CNSコース（担当：原祥子教授）

高齢者看護学実習に関連のある特定の実践的課題を追究する。高齢者看護の現場における課題を明確にしたうえで、研究計画を立案し、その計画に従って研究を実施する。課題研究の成果は、修士論文として作成する。

*助産学コース（担当：橋本美幸准教授）

女性、子ども、家族の性と生殖に関する健康と権利に関する問題や課題を見出し、これらを解決する助産実践の方法や対策について探求する。このプロセスを修士論文として作成し、発表する。